

— 令和 6(2024 年) 年 4 月 —

令和 5 年(2023 年)度事業報告書及び収支決算報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

公益財団法人日本化学研究会

令和5年(2023年)度事業報告書

公益財団法人 日本化学研究会

I. 事業の状況

① 化学研究に対する助成（定款第4条第1号） 3,600,000円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
辻原 哲也	岩手医科大学薬学部/准教授	リン中心性不斉およびラセン不斉を合わせもつヘリセン型P-キラルホスフィンの創製	600,000円
宮崎 珠子	岩手大学農学部/准教授	雄犬を惹きつける発情雌犬特有の化学物質の同定	600,000円
趙 明	秋田工業高等専門学校/准教授	海水電解用コアシェル型白金触媒材料の開発	600,000円
柳町 拓哉	秋田工業高等専門学校/准教授	粗い表面上における液晶分子のダイナミクス:潤滑挙動の理解に向けて	600,000円
石崎 学	山形大学学術研究院/講師	“分散”をキーワードとした超高速充放電可能なイオン二次電池の開発	600,000円
上田 大次郎	新潟大学大学院自然科学研究科・農学部/助教	昆虫由来新型テルペン環化酵素の触媒機構解明を起点とした新規テルペンの開拓	600,000円

② 化学情報の流通に関する研究及び事業に対する助成（定款第4条第2号） 0円
申請なし。

③ 海外渡航に対する助成（定款第4条第3号） 0円
申請なし。

④ その他の事業関係（定款第4条第4号）
本財団法人の目的を達成するための事業関係の理事間協議，各選考委員会等の開催。

II. 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

2024年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	飛田 博実	令 5.6.10	業務の総括	あり	東北大学名誉教授	平成 19.5
常務理事	非常勤	西野 徳三	令 5.6.10	会計	あり	東北大学名誉教授	平成 15.5
常務理事	非常勤	根東 義則	令 5.6.10	庶務・事業	あり	東北大学名誉教授	平成 25.8
理事	非常勤	中山 亨	令 5.6.10		あり	東北大学教授	平成 29.6
理事	非常勤	岩本 武明	令 5.6.10		あり	東北大学教授	平成 29.6
監事	非常勤	寶澤 光紀	令 3.6.13		あり	東北大学名誉教授	平成 15.5
監事	非常勤	福島美智子	令 4.11.27		あり	石巻専修大学名誉教授	令和 4.11

◇備考の年月は最初の就任の年月。

(2) 評議員に関する事項

2024年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	報酬	現職	備考
評議員	非常勤	池上 雄作	令和 3.6.13	あり	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	宮野 壯太郎	令和 3.6.13	あり	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	村松 隆	令和 3.6.13	あり	宮城教育大学学長	

(3) 職員に関する事項

2024年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当事務	手当	備考
事務局長	非常勤 (常勤職員なし)	飛田 博実	令和 5.6.10	庶務・会計	なし	理事長が兼務

(4) 会議等に関する事項

①理事会

開会年月日	議事事項	会議の結果
2023年5月13日, 第204回理事会(Web会議)	1. 令和4年度事業報告書(案)について(配布資料-2) 2. 令和4年度収支決算報告書(案)について(配布資料-2) 3. 令和5年度化学研究連絡助成事業の選考について(配布資料-4) 今年度は化学研究助成6件が選考委員会によって選考された。 情報研究・事業助成および海外渡航助成は応募がなかった。	原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した

	<p>4. 次回の第 97 回定時評議員会の開催について 6 月 10 日(土曜日)14 時からラボシティ仙台 1 階会議室 C において開催することについて審議し、承認された。</p> <p>5. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p>	<p>原案どおり承認・可決した</p> <p>報告事項</p>
2023 年 6 月 10 日, 第 205 回臨時理事会 (Web 会議)	<p>1. 次期理事長 (代表理事) の選定について 定款第 21 条第 2 項により理事会の決議によって理事の中から選定することになっているので審議した結果, 理事長に飛田博実理事が全会一致で決議, 選定された。</p> <p>2. 次期常務理事 (業務執行理事) の選定について 定款第 21 条第 2 項により理事会の決議によって理事の中から選定することになっているので審議した結果, 事業担当常務理事に根東義則理事, 会計担当常務理事に西野徳三理事が全会一致で決議, 選定された。</p>	<p>原案どおり承認・可決した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p>
2023 年 10 月 21 日, 第 206 回理事会 (Web 会議)	<p>1. 令和 6 年度化学研究連絡助成事業の募集について 令和 6 年度の交付申請要項の内容と文面について審議した。要項の「2. 助成の対象になる者」の最後にかかれている, 過去 5 年以内に助成を受けた者を除外するための文 2 つがいずれも「には申請できない。」で終わっており, これでは「助成の対象になる者」という項目名と整合性が取れないので, 「の今年度の助成の対象にならない。」に変更してはどうか, という指摘を受け, 審議の結果, 指摘通りに変更することが全会一致で承認された。</p> <p>2. 化学研究連絡助成選考委員会委員の選定について 化学研究連絡助成規程第 7 条により, 選考委員は理事から推薦された候補者から理事会において選任することになっているので, 審議した結果, 原案通り, 3 つの選考委員会の委員および委員長全員を現委員の重任とすることが全会一致で決議, 承認された。内容は以下の通り。1. 化学研究助成選考委員会委員として根東義則 (委員長), 岩本武明(理学研究科), 米山 裕(農学研究科), 壹岐伸彦(環境科学研究科), 2. 情報研究・事業選考委員会委員として西野徳三 (委員長), 中山 亨, 服部徹太郎(工学研究科), 長谷部亨(福島大), 3. 海外渡航選考委員会委員として飛田博実 (委員長), 西野徳三, 根東義則。</p> <p>3. その他 理事会の開催方法について審議した。新型コロナの感染が始まって以来約 3 年に渡り, 理事会を Web 会議として開催してきたが, やはり対面での議論や飲食をしながらの対話の方が Web 会議よりも実りある議論ができメリットが大きい, という意見が全役員から出た。それで, Web 会議は翌年 3 月の理事会までとし, 次年度からの理事会は極力対面で行うという</p>	<p>審議の結果一部修正した案について承認・可決した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>全会一致で承認・可決した</p>

	<p>ことが承認された。開催場所としては、ラボシティ仙台（南吉成）は交通があまり便利ではないので、自家用車を利用しない役員が複数おられることを考慮し、駅近くのホテル等を第一候補として検討することとした。</p>	
<p>2024年3月3日、第207回理事会(Web会議)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 令和6年度事業計画(案)について(配布資料-2) 令和6年度事業計画について審議し、全会一致で承認された。 令和6年度収支予算(案)について(配布資料-3) 令和5年度の予算の執行を踏まえ、令和6年度予算案を作成した趣旨説明がなされ、審議した結果、原案通り全会一致で承認された。 併せて、令和6年度の特定期間取り崩し額を5,000,000円とすることも審議し、全会一致で承認された。 その他 令和6年度化学研究連絡助成申請一覧(配布資料-4)に基づいて、申請のあった化学研究助成に関する選考委員会の委員長に選考を依頼した。 	<p>原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した 全員了承した</p>

②評議員会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
<p>2023年6月10日 第97回定時評議員会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 令和4年度の事業報告(案)について(評議員会資料-2) 令和4年度の収支決算報告(案)について(評議員会資料-2) 令和5年度化学研究連絡助成応募者及び採択者について(評議員会資料-3) 令和5年度事業計画及び収支予算書の確認(評議員会資料-4,5) 公益財団法人日本化学研究会理事の改選について(当日履歴書回覧) 定款第21条第1項に則り、その決議にあたっては定款第18条第3項に則ってそれぞれの候補者を提示し、候補者ごとに決議し、選任を行った。 理事 飛田博実 全会一致で選任され、就任を承諾した。 西野徳三 全会一致で選任され、就任を承諾した。 根東義則 全会一致で選任され、就任を承諾した。 中山 亨 全会一致で選任され、就任を承諾した。 岩本武明 全会一致で選任され、就任を承諾した。 従って、新たな理事は 飛田博実、西野徳三、根東義則、 	<p>原案どおり承認した 原案どおり承認した 全員一致で承認した 全員一致で承認した 全員一致で承認した</p>

	<p>中山 亨, 岩本武明の5名(すべて重任)に議決し, それぞれ就任を承諾した。</p> <p>6. その他</p> <p>(1) 監査報告書(評議員会資料-6)の確認を行った。</p> <p>(2) 第204回理事会(5月13日)議事録(評議員会資料-7)の確認を行った。</p>	<p>全員一致で承認した</p>
--	--	------------------

③ 選考委員会(令和5年度化学研究連絡助成金交付者の選考)

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
[化学研究選考委員会]		
2023年4月23日 (Web会議)	本助成金について, 2月末を締め切りとして募集を行い, 最終的に12件の応募があった。それらにつき審議した結果, そのうち6件の採択を決め, 理事会に報告することとした。	全員一致で承認した
[情報研究・事業選考委員会]		
	応募者なし。	
[海外渡航選考委員会]		
	応募者なし。	

(5) 許可, 認可, 承認, 証明等に関する事項
なし

(6) 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
「該当なし」		

(7) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	受領金額	備考
「該当なし」				

(8) 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
「該当なし」		

(9) その他の重要事項(官公庁関係事項)

1. 2023年6月28日 内閣府のポータルサイトから令和4年度の事業報告書等に係る提出書を提出した。2024年4月17日に補正依頼が届いたため、4月18日に補正提出を行った。同日に提出完了通知が届いた。
2. 2024年3月15日 内閣府へ令和6年度の事業計画および予算書、第207回理事会議事録等をPDFファイルとしてポータルサイトから送信した。3月15日中に提出完了通知が届いた。

以上

令和5年(2023年)度収支決算報告書

収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(公財)日本化学研究会
(単位: 円)

科 目	令和5年度 予算額	令和6年3月末日 決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店	700	1,400	700	
2 運用財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店 及び七十七銀行	1,900	1,810	△ 90	
(2) 普通預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店 及び七十七銀行	0	88	88	
(3) 株式配当金計	2,000,000	2,066,390	66,390	
: 三菱ケミカルグループ(株)		768,800		
: AGC(株)		1,297,590		
3 雑収入	0	0		
(1~3 小計)	2,002,600	2,069,688	67,088	
4 特定資産取崩収入				
・化学研究連絡助成資金 積立預金取崩収入	7,000,000	7,000,000	0	
当期収入合計 (A)	9,002,600	9,069,688	67,088	
前期繰越収支差額	5,928,479	5,928,479	0	
収入合計 (B)	14,931,079	14,998,167	67,088	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
II 支出の部				
1 事業費				
・助成費計	5,000,000	3,600,000	△ 1,400,000	
・化学研究助成費		3,600,000		6件
・情報研究・事業助成費		0		0件
・海外渡航助成費		0		0件
・事業執行経費	1,665,000	1,414,671	△ 250,329	
(事業費合計)	6,665,000	5,014,671	△ 1,650,329	注1
2 管理費				
・役員等報酬	600,000	610,000	10,000	
・退職給付引当金	100,000	100,000	0	
・会議費	150,000	2,038	△ 147,962	注2
・旅費交通費	150,000	84,080	△ 65,920	注2
・通信運搬費	100,000	50,471	△ 49,529	
・消耗品費	10,000	10,654	654	
・印刷製本費	130,000	120,615	△ 9,385	
・事務室経費	420,000	406,494	△ 13,506	
・保険料	0	0	0	
・諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
・租税公課	0	0	0	
・手数料	15,000	12,700	△ 2,300	
・業務委託料	360,000	360,000	0	
(管理費合計)	2,045,000	1,757,052	△ 287,948	
当期支出合計 (C)	8,710,000	6,771,723	△ 1,938,277	
III 収支差額				
当期支出差額 (A) - (C)	292,600	2,297,965	2,005,365	
次期繰越収支差額(B) - (C)	6,221,079	8,226,444	2,005,365	

注1 情報研究・事業助成および海外渡航助成の該当者がなかったため、およびほとんどの会議をWeb会議として開催したため、差額が大きくなった。

注2 ほとんどの会議をWeb会議として開催したことにより、会議費、交通費が予定より大きく減少した。

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (公財) 日本化学研究会

(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
1一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,400	350	1,050
基本財産受取利息	1,400	350	1,050
特定資産運用益	2,068,288	2,043,606	24,682
特定資産受取利息	1,898	2,016	△ 118
特定資産受取配当金	2,066,390	2,041,590	24,800
雑収益	0	0	0
経常収益計	2,069,688	2,043,956	25,732
(2) 経常費用			
事業費	5,014,671	5,654,761	△ 640,090
役員報酬	340,000	360,000	△ 20,000
会議費・選考経費	30,000	50,000	△ 20,000
旅費交通費	90,000	102,000	△ 12,000
通信運搬費	42,978	88,364	△ 45,386
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	132,727	136,562	△ 3,835
賃貸料光熱費	406,426	405,845	581
諸謝金	0	0	0
支払助成金	3,600,000	4,200,000	△ 600,000
手数料	12,540	11,990	550
業務委託費	360,000	300,000	60,000
管理費	1,757,052	1,831,869	△ 74,817
役員報酬	610,000	705,000	△ 95,000
退職給付引当金	100,000	100,000	0
会議費	2,038	1,310	728
旅費交通費	84,080	106,880	△ 22,800
通信運搬費	50,471	63,431	△ 12,960
消耗品費	10,654	5,447	5,207
印刷製本費	120,615	121,250	△ 635
賃貸料光熱費	406,494	415,851	△ 9,357
諸謝金	0	0	0
手数料	12,700	12,700	0
業務委託料	360,000	300,000	60,000
経常費用計	6,771,723	7,486,630	△ 714,907
当期経常増減額	△ 4,702,035	△ 5,442,674	740,639
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
有価証券当期評価損益	6,957,377	△ 655,140	7,612,517
経常外収益計	6,957,377	△ 655,140	7,612,517
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	6,957,377	△ 655,140	7,612,517
当期一般正味財産増減額	2,255,342	△ 6,097,814	8,353,156
一般正味財産期首残高	251,845,414	257,943,228	△ 6,097,814
一般正味財産期末残高	254,100,756	251,845,414	2,255,342

正味財産増減計算書内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (公財) 日本化学研究会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
1一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,400	1,400
基本財産受取利息	0	1,400	1,400
特定資産運用益	2,068,288	0	2,068,288
特定資産受取利息	1,898	0	1,898
特定資産受取配当金	2,066,390	0	2,066,390
雑収益	0	0	0
経常収益計	2,068,288	1,400	2,069,688
(2) 経常費用			
事業費	5,014,671		5,014,671
役員報酬	340,000		340,000
会議費・選考経費	30,000		30,000
旅費交通費	90,000		90,000
通信運搬費	42,978		42,978
消耗品費	0		0
印刷製本費	132,727		132,727
賃貸料光熱費	406,426		406,426
諸謝金	0		0
支払助成金	3,600,000		3,600,000
手数料	12,540		12,540
業務委託費	360,000		360,000
管理費		1,757,052	1,757,052
役員報酬		610,000	610,000
退職給付引当金		100,000	100,000
会議費		2,038	2,038
旅費交通費		84,080	84,080
通信運搬費		50,471	50,471
消耗品費		10,654	10,654
印刷製本費		120,615	120,615
賃貸料光熱費		406,494	406,494
諸謝金		0	0
手数料		12,700	12,700
業務委託料		360,000	360,000
経常費用計	5,014,671	1,757,052	6,771,723
当期経常増減額	△ 2,946,383	△ 1,755,652	△ 4,702,035
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券当期評価損益	6,957,377	0	6,957,377
経常外収益計	6,957,377	0	6,957,377
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	6,957,377	0	6,957,377
当期一般正味財産増減額	4,010,994	△ 1,755,652	2,255,342
一般正味財産期首残高	235,845,040	16,000,374	251,845,414
一般正味財産期末残高	239,856,034	14,244,722	254,100,756

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

(単位:円)

科 目	当 年 度	令和5年3月31日	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,226,444	5,928,479	2,297,965
流動資産合計	8,226,444	5,928,479	2,297,965
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
化学研究連絡助成資金	154,000,000	161,000,000	△ 7,000,000
有価証券	56,874,312	49,916,935	6,957,377
退職給付引当資産	730,000	630,000	100,000
特定資産合計	211,604,312	211,546,935	57,377
(3) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	246,604,312	246,546,935	57,377
資 産 合 計	254,830,756	252,475,414	2,355,342
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当資産	730,000	630,000	100,000
負 債 合 計	730,000	630,000	100,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	254,100,756	251,845,414	2,255,342
(うち基本財産への充当額)	35,000,000	35,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	211,604,312	211,546,935	57,377
正 味 財 産 合 計	254,100,756	251,845,414	2,255,342
負債および正味財産合計	254,830,756	252,475,414	2,355,342

退職慰労金の支給に備えるため、退職給付引当金を計上しており「財務諸表に対する注記」に注記している。

財産目録

令和6年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金		
・現金 現金手許有高	213,016	
・普通預金:みずほ信託銀行仙台支店	303,759	
・普通預金:七十七銀行旭ヶ丘支店	7,709,669	
流動資産合計		8,226,444
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
・定期預金: みずほ信託銀行仙台支店	35,000,000	
基本財産合計	35,000,000	
(2) 特定資産		
化学研究連絡助成資金		
・定期預金:みずほ信託銀行仙台支店	154,000,000	
・定期預金:七十七銀行吉成支店	0	
有価証券(株券)		
・三菱ケミカルグループ(株) 24,800株	22,716,800	
・AGC(株) 6,179株	34,157,512	
退職給付引当資産:七十七銀行本店	730,000	
特定資産合計	211,604,312	
固定資産合計		246,604,312
資産合計		254,830,756
II 負債の部		
1. 流動負債	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債	0	
退職給付引当資産		730,000
固定負債合計		730,000
負債合計		730,000
正味財産		254,100,756

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

特定資産である有価証券(株券)は、本年度期末日の市場価格に基づく時価法によっている。評価額は次のとおりである。

2. 有価証券の評価価格は次のとおりである。

	三菱ケミカルグループ(株)	AGC(株)	計
株 数	24,800	6,179	30,979
取得価格	1,431,547	1,444,940	2,876,487
令和5年3月31日現在評価： 令和5年度期首			
株 数	24,800	6,179	
株 価	785.7	4,925	
評価額	19,485,360	30,431,575	49,916,935
当期評価損益	△778,720	123,580	△655,140
令和6年3月31日現在評価： 令和6年度期首			
株 数	24,800	6,179	
株 価	916	5,528	
評価額	22,716,800	34,157,512	56,874,312
当期評価損益	3,231,440	3,725,937	6,957,377
発行株数	1,506,288,107	227,441,381	
持株比率	0.0001646%	0.002717%	

3. 引当金の計上

役員退職給付引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため内規に基づく期末支給額を計上している。

4. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額 及びその残高(引当金の明細)

(単位:円)

科 目	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
特定資産	退職給付引当金	630,000	100,000	0	0	730,000

以 上